

## 【2019 年度私大医学部一般入試における主要変更点一覧】

(2018 年 1 月 4 日時点)

| 大学名  | 2018 年度入試からの変更点   |
|------|---|
| 岩手医大 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 一般入試 1 次試験における試験時間・科目配点の変更<br/>試験時間：理科選択 2 科目で 90 分⇒120 分<br/>配 点：「英語 100 点，数学 100 点，理科 2 科目 150 点，小論文（配点を定めない）」<br/>⇒「英語 100 点，数学 100 点，理科 2 科目 200 点，小論文（配点を定めない）」</li> </ul>                                    |
| 埼玉医大 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域枠推薦入試新設に伴う一般入試募集人員減<br/>「一般前期 61 名，一般後期 43 名」⇒「一般前期 52 名，一般後期 35 名」</li> </ul>   |
| 杏林大  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ AO 入試新設、一般入試の二分割化に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般 79 名，セ利用 25 名」⇒「一般前期 79 名，一般後期 10 名，セ利用 10 名」<br/>一般後期試験科目→前期と同じである。</li> </ul>  |
| 順天堂大 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セ利用入試の二分割化に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般 A 60 名，一般 B 10 名，セ利用 12 名，セ・一般併用 24 名」<br/>⇒「一般 A 61 名，一般 B 10 名，セ利用前期 10 名，セ利用後期 5 名，セ・一般併用 20 名」<br/>セ利用前期試験科目→変更なし<br/>セ利用後期試験科目→センター受験科目は前期と同じ。2 次に小論文・英作文・面接が課せられる。</li> </ul> |
| 昭和大  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 歯学部・薬学部併願制度を新設<br/>一般 I 期出願時に歯学部・薬学部を併願する旨を申告すると、試験結果が歯学部・薬学部入試の可否判定にも使われることになる。当制度による歯学部・薬学部の募集人員は、歯学部 3 名、薬学部 5 名である。</li> </ul>   |
| 東京医大 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 2017 および 2018 年度入試不正への対応による募集人員減<br/>「一般 75 名，セ利用 15 名」⇒「一般 34 名，セ利用 12 名」</li> </ul>  |
| 日本医大 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 一般後期センター国語併用入試新設に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般前期 100 名，一般後期 18 名」<br/>⇒「一般前期 90 名，一般後期 21 名，一般後期センター国語併用 10 名」<br/>一般後期センター国語併用試験科目→1 次に、一般後期と同じ科目にセンター国語（古・漢を含む）が加わる。</li> </ul>  |
| 東海大  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ AO 入試新設、セ利用入試後期廃止、神奈川県地域枠復活（前年度は入学後に募集する形であった）に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般 65 名，セ利用前期 10 名，セ利用後期若干名」<br/>⇒「一般 65 名，セ利用 10 名」（結果的に、一般・セ利用募集人員に変化はない）</li> </ul>   |
| 愛知医大 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セ利用入試の二分割化、公募推薦入試募集人員減に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般 65 名，セ利用 15」⇒「一般 65 名，セ利用前期 15 名，セ利用後期 5 名」<br/>セ利用後期試験科目→1 次：英語，数 I A，数 II B，物・化・生→①，国（古・漢を含む），世 A・世 B・日 A・日 B・地 A・地 B・現社・倫・政・倫政→①<br/>2 次：面接</li> </ul>               |

(次ページに続く)

| 大学名  | 2018 年度入試からの変更点   |
|------|---|
| 藤田医大 | <p>▶ 大学名変更<br/>「藤田保健衛生大学」⇒「藤田医科大学」</p> <p>▶ 公募推薦入試廃止、AO 入試募集人員増に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般前期 90 名，一般後期 5 名，セ利用前期 10 名，セ利用後期 5 名」<br/>⇒「一般前期 80 名，セ利用前期 10 名，一般後期とセ利用後期の合計で 15 名」</p>   |
| 関西医大 | <p>▶ 特色入試新設、センター・一般併用入試新設に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般前期 85 名，一般後期 7 名，セ利用 15 名」<br/>⇒「一般前期 86 名，一般後期 6 名，センター・一般併用 10 名，セ利用 10 名」</p> <p>センター・一般併用試験科目について、センター受験科目は以下の通りである。<br/>英語，数ⅠA，数ⅡB，物・化・生→②，国（古・漢を除く），世A・世B・日A・日B・地A・地B・現社・倫・政・倫政→①<br/>センターでこれらの科目を受験したうえで、一般前期に臨む形となる。</p> |
| 兵庫医大 | <p>▶ 公募推薦入試募集人員増、セ利用入試廃止、一般入試B 高大接続型新設に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般 80 名，セ利用前期 10 名，セ利用後期 3 名」<br/>⇒「一般A 85 名，一般B 高大接続型 10 名」</p> <p>一般B 高大接続型入試に出願するには、指定の英語資格・検定試験について、与えられた規準を満たす成績を取得していることが必要となる。</p>   |
| 川崎医大 | <p>▶ 地域枠拡大に伴う一般入試募集人員減<br/>「一般 60 名」⇒「一般 50 名」</p>  |
| 久留米大 | <p>▶ 一般入試の二分割化に伴う募集人員内訳の変更<br/>「一般 85 名」⇒「一般前期 80 名，一般後期 5 名」<br/>一般後期試験科目→前期と同じである。</p>  |

<注釈>

◆表中の省略表記は以下の意味を表す。

「セ利用」⇒「センター試験利用入試」

[例]「物・化・生→②」⇒「物理・化学・生物の中から2科目選択」

◆大学によって、募集人員の表記に「約～名」、「～名程度」といった表現を用いているケースがあるが、それらの「約」「程度」といった言葉は省略した。

◆募集人員の中に地域枠の分が含まれているケースがあるが、それに関する注釈は省いた。

◆試験会場、入試日程、特待制度についての変更は省いた。

◆自治医大と産業医大については調査対象から外した。

※報道されている不正入試問題にかかわった大学の 2019 年度募集人員については、上記東京医大の他、岩手医大・順天堂大・昭和大・日大・金沢医大・福岡大の 6 校は「変更なし」と表明し、北里大はHP 上に「可能な限り受験生の機会確保に取り組む」と掲載するだけで、明確な表明をしていない。